

公害防止基準（排ガス基準）案の提案

近年供用が開始された処理能力が近い施設および現施設の公害防止基準値を参考に、新施設の排ガスの自主規制値を表－１の「魚沼市新ごみ処理施設」のとおり提案します。

表－１ 公害防止基準案および参考事例

施設名称				魚沼市 新ごみ処理施設	エコプラント魚沼 (魚沼市現施設)	北秋田市クリーン リサイクル センター	五島市 クリーンセンター	山鹿市 環境センター	邑智クリーン センター	根室市 新ごみ処理施設
焼却方式				ストーカ or 流動床	流動床	流動床	ストーカ	ストーカ	ストーカ	ストーカ
処理能力（運転時間）				46～51t/16h (2炉)	95t/16h (47.5t×2炉)	50t/16h (25t×2炉)	41t/24h (20.5t×2炉)	46t/16h (23t×2炉)	40t/16h (20t×2炉)	44t/24h (22t×2炉)
所在地				新潟県魚沼市	新潟県魚沼市	秋田県北秋田市	長崎県五島市	熊本県山鹿市	島根県邑智郡 川本町	北海道根室市
供用開始 (法基準値)				令和13年度予定 (2031)	平成7年度 (1995)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和元年度 (2019)	令和4年度 (2022)	令和10年度予定 (2028)
項 目	ばいじん	g/m ³ N	0.15	0.01	0.03	0.01	0.02	0.05	0.05	0.01
	硫黄酸化物	ppm	90	50	90	100	50	100	100	100
	窒素酸化物	ppm	250	120	120	150	150	200	150	150
	塩化水素	ppm	430	100	210	200	100	100	150	100
	水銀等	μg/m ³ N	30	30	50	30	30	50	30	30
	ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	5	1	5	0.1	0.1	1	0.1	1

※乾式、酸素濃度12%換算値

各項目の設定根拠は次のとおりです。

1. ばいじん、硫黄酸化物、窒素酸化物、塩化水素

現施設または参考事例の基準値より、現状と同等かより厳しくなるよう設定しました。

2. 水銀等

水銀は法基準値に則り30 μg/m³Nと設定しました。

3. ダイオキシン類

ダイオキシン類は1 ng-TEQ/m³Nまたは0.1 ng-TEQ/m³Nとされる場合が多いです。基準値を過度に厳しくする場合、排ガス処理に要する設備と薬品使用量が増加し、事業費の増加が見込まれるため、1 ng-TEQ/m³Nとして設定しました。